

第6節 県内におけるばい煙発生施設数等の年度別推移

1 ばい煙発生施設数の年度別推移

種 類 \ 年 度	16	17	18	19	20
ポ イ ラ ー	2,005	2,015	2,004	1,977	2,002
金 属 溶 解 炉	161	165	167	167	167
金 属 加 熱 炉	169	166	159	168	172
焼 成 炉 ・ 溶 融 炉	74	70	73	72	78
乾 燥 炉	100	96	102	100	100
電 気 炉	24	23	23	22	23
廃 棄 物 焼 却 炉	49	56	56	57	58
銅・鉛・亜鉛精錬用施設	3	2	3	3	3
塩素・塩化水素反応施設	66	69	68	66	58
ガ ス タ ー ビ ン	80	80	81	83	89
デ ィ ー ゼ ル 機 関	274	265	276	276	280
そ の 他	49	55	52	53	54
合 計	3,054 (100)	3062 (101)	3,064 (101)	3,044 (100)	3084 (101)

注 () は、16年度を100とした指数である。

2 燃料使用量の年度別推移

(単位：千KL)

燃料の種類 \ 年 度	16	17	18	19	20
A 重 油	270 (100)	248 (92)	224 (83)	206 (76)	197 (73)
C 重 油	335 (100)	352 (105)	243 (76)	517 (154)	384 (115)
原 油	492 (100)	180 (37)	195 (40)	328 (67)	237 (48)
石 炭 等	934 (100)	847 (91)	864 (93)	880 (94)	888 (95)
小 計	2,031 (100)	1,627 (80)	1,526 (75)	1,931 (95)	1,706 (84)
灯 油	336 (100)	349 (104)	304 (90)	296 (88)	269 (80)
軽 油	356 (100)	373 (105)	360 (101)	348 (98)	317 (89)
ガ ソ リ ン	558 (100)	550 (99)	549 (98)	548 (98)	524 (94)
合 計	3,281 (100)	2,899 (88)	2,739 (83)	3,123 (95)	2816 (86)

注 1 この表は、石油連盟及び県内事業所の資料を基に集計したものである。

2 () は、16年度を100とした指数である。

3 石炭等()は、石炭及びコークス、オイルコークスの使用量をそれぞれ重油相当に換算し、これらを合計した量である。

3 自動車保有台数の年度別推移

(単位：台)

用途、種類		年度	16	17	18	19	20
貨物用	普通車		29,338	29,327	29,228	28,730	27,597
	小型車		51,425	50,223	48,625	46,963	44,901
	被けん引車		885	899	941	935	958
	軽自動車		100,884	100,019	98,474	97,380	96,200
乗合用	普通車		842	853	847	828	811
	小型車		1,448	1,455	1,441	1,425	1,383
乗用	普通車		143,471	147,183	149,255	150,539	150,420
	小型車		316,240	314,336	308,691	300,370	294,391
	軽自動車		184,865	192,859	202,033	210,608	219,470
特種用途車			19,655	18,678	18,591	19,636	19,412
二輪車			19,457	19,857	20,039	20,274	20,622
総数			868,510	875,689	878,165	877,688	876,165

注 北陸信越運輸局富山運輸支局調べによるもので、それぞれ年度末現在の台数である。